

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月24日

計画の名称	都市公園の長寿命化と安全・安心で快適なまちづくり												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	沼津市												
計画の目標	都市公園における総合的な安全・安心対策業務を緊急かつ計画的に実施し、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる公園施設を整備するため、公園施設長寿命化計画に基づき老朽化した公園施設について改築・更新を行う。 また、今後の公園の管理をより効率的・効果的な方法で実施していくため、市民、事業者、行政の連携による新たな公園機能の創出、民間活力の導入による公園の利用性の向上及び賑わい創出等を進め、更なる利用者の満足度を向上させる。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	474	A	460	B	0	C	14	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	2.95	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (R3末)
1	沼津市内の都市公園147公園(全151公園のうち、計画策定をしていない4公園を除いた公園)のうち、R3までに、公園施設長寿命化計画に基づく改築を行い、老朽化施設における老朽化対策率の割合を0%から100%にする。 老朽化対策率(%) 老朽化対策を行う施設数 / 計画期間内の全体老朽化施設数	0%	%	100%
2	沼津市内の都市公園151公園のうち、R3までに民間(市民)活力導入を1公園実現する。 民間(市民)活力導入を推進する公園数 0/151公園 1/151公園	0公園	公園	1公園
3	策定済の公園施設長寿命化計画について、公園施設の健全度等の見直しを行い、結果を反映させた計画を策定する。(長寿命化計画策定済公園数 N=147公園) 長寿命化計画見直し率(%) 長寿命化計画の見直しが完了した公園数 / 長寿命化計画策定済公園数	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	-----------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	沼津市	直接	沼津市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業	千本浜公園等100箇所における遊具等480施設の改築・更新	沼津市						335		策定済	
	A12-002	公園	一般	沼津市	直接	沼津市	-	-	官民連携賑わい拠点創出事業	P-PFI事業など官民連携による拠点創出(中央公園他)	沼津市						100		-	
	A12-003	公園	一般	沼津市	直接	沼津市	-	-	公園施設長寿命化計画策定調査	147公園の長寿命化計画の見直し	沼津市						25		-	
											小計							460		
											合計							460		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30			
配分額 (a)	26	28			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	26	28			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	26	28			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 都市公園の長寿命化と安全・安心で快適なまちづくり

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との適合等 1) まちづくりの目標が上位計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 計画について公表することとしている	○

